

2021-2022 年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ(インド)

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

例会日：毎月第2・第4水曜日

場 所：各務原市産業文化センター2階 住 所：各務原市那加桜町2-186
TEL <058>382-4649 FAX <058>382-4719

会 長：後藤 健介

副会長：横山 浩之

幹 事：松井 雅史

会 報：藤井 孝一/松原 竜二

第 2742 例会

令和 3 年 8 月 11 日(水)

No.0679

本日のプログラム 2021年 8月25日(水) 19:30~

1) 卓話 (片岡 紀生 君)

場所:産業文化センター2階 第2会議室

次回例会の予告 2021年 9月8日(水) 19:00~

2) ガバナー公式訪問

場所:産業文化センター8階 ぶるうすかい

出席委員会

会員総数 28名(出席免除3名)

(2021.7.1 現在)

前 回 8月11日 補正後出席率 60.71%

前々回 7月28日 補正後出席率 55.56%



～ 卓 話 (卓話者：後藤 健介 会長) ～

司会進行

金武 峰之 副幹事

会長挨拶

後藤 健介 会長

本日は暑い中、沢山の方にお集まり頂きまして有難う御座います。本日もコロナ渦という事で時間短縮にて進めて参りたいと思いますので宜しくお願い致します。

又、本日はお客様をお迎えしておりますのでご紹介させて頂きます。2019年度 奨学生の児玉 真子様ピアノリサイタルの件でお越し頂きました。8月リサイタルチケットを6枚と、9月リサイタルチケットを6枚、其々ご用意致しましたので、チケット希望の方は事務局、ないしは会長までご連絡をお願い致します。



・ 奨学生 児玉 真子 様
よりご挨拶

皆様、こんばんわ。私は2019-2020年度 奨学生としてお世話になりました児玉と申します。2年間ドイツへ留学をし、更に昨年ドレスデン音楽大学院を卒業し、現在はライプツィヒ音楽大学院で学んでおります。

3週間前に帰国し、検査とワクチン接種も済み、公演に向けて準備しております。

もしよろしければ公演にお越し下さい。お待ちしております。

8月公演、8月27日(金) 宗次郎ホール

11:00 開場、11:30 開演

9月公演、9月4日(土) ヤマハ名古屋ホール

14:30 開場、15:00 開演



新会員 松久 茂彦
君より ご挨拶

皆さん、こんばんわ。

7月よりロータリーク
ラブに入会致しまして、

本日初めての例会に
参加させて頂いてお

ります。大変緊張して

おります。せっかくの機会に御座いますので皆さんとお
知り合いになり、そして自分の人生にプラスになれたらと
思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

3分間スピーチ

左高 洋 会長エレクト

皆さん、こんばんわ。昨年は、幹事として小島直前会長
の下、色々勉強させて頂きました。しかし残念ながら、皆
さん周知の通りコロナの影響は大きく、東海北陸道グル
ープの会長・幹事会及び幹事会の集まりが、年 3 回あり
ますが、どれも 1 回に留まり不完全燃焼に終わりました。
その様な中でも、小島会長のやる時はやる、と言ったメリ
ハリのある前向きな考え方を後ろから見て、大変勉強に
なりました。又、初めて経験する”コロナ”に対しても、卓
話を通し医者の方のお話が直に拝聴出来た事は大変良
かったと思います。世論に振り回され焦る気持ちの中、
お話を拝聴する事で精神的にも冷静になれたのではない
かと思います。今も第5派が来ておりますが、理解と
予防が大切なのではないかと思っております。この様な感
じで昨年は大変お世話になりました。次年度は会長職とい
う事で、どうぞ宜しくお願い致します。

ニコボックス報告

小島 博彦 直前会長

・ 後藤 健介 会長 第1回例会が始まりました。皆
さん「明るく・楽しく」をモットーに親睦を深めていきま
しょう。宜しくお願い致します。

・ 松井 雅史 幹事 熱中症の患者さんが増えてき
ました。水分補給をして体調を崩さないようにしましょう。

・ 金武 峰之 副幹事 皆様、こんばんわ。子供の夏
休みの工作に、子供以上に本気になってしまう今日この
頃。学年以上の出来栄になってしまいます・・・。

・ 横山 浩之 副会長 会長の卓話、まともにお願
いします。

・ 左高 洋 会長エレクト 暑い中会長、今月も頑張
って下さい。

・ 横山 隆一郎 君 いつまでも暑いですね。

・ 平井 正晴 君 松久さん、ようこそ各務原ロー
タリークラブへ。

・ 可児 昌則 君 コロナウィルス感染、早く治ま
ります様に。

・ 片岡 紀生 君 毎日暑い日が続きます。もう
少しの辛抱です。頑張りましょう。

・ 竹田 克成 君 宜しくお願い致します。

・ 小林 幹男 君 後藤会長、本日の卓話 宜し
くお願い致します。

・ 大野 広 君 松久さん、ようこそ各務原ロ
ータリークラブへ。小島さん、本日中型ですか？中型で
すよね。あれ？会長は・・・？

・ 野村 公人 君 卓話に期待しているかも。

・ 永田 和弘 君 児玉さん、ようこそ。娘はピア
ノ頑張ってます。皆さんお疲れ様です。早くワクチンが打
てるといいですね。

・ 小島 博彦 君 松久さん、ようこそ各務原ロー
タリークラブへ。

卓 話

後藤 健介 会長

皆さん、改めましてこんばんわ。今年も未だコロナが終息しておらず、卓話をメインに行きますので、卓話で

お話をされたいという方は、事務局までご連絡をお願い致します。

先ず、お話をさせて頂く前に私自身”卓話”とは何か、先輩方に尋ねました所、自分の職業についてやロータリーについて話をする、即ちその道に深く関わってきた方々の貴重な話を聞く時間、そして自分の人生に付加価値を付けていく、という事で理解をしました。しかしながら、私自身ロータリー歴が浅く、ロータリーの話は出来兼ねますので、自己紹介を兼ねて私自身の仕事の話をしたいと思います。

私は、各務原市おがせ町に生まれ、姉、妹の3人兄妹で、自営業一家に生まれました。現在は各務原高校時代同級生でした妻と知り合い結婚し、高校一年生の長男と小学六年生の次男の四大家族です。長男は今年、無事スポーツ推薦で大阪桐蔭高校に入学し頑張っております。次男も同じく卓球をしております、毎週の様々に大会に出場しております。今はその大会への送迎が私の生きがいとなっております。仕事の内容はと言いますと、ほとんどの方が私の仕事に疑問を抱いて見える方が多いと思いますので、お話させていただきます。

今は、”メイリン”、”メイリンホーム”、”日本アグリファーム”の三つの会社の代表取締役をしております。”メイリンホーム”が不動産業、”メイリン”が不動産管理等、不動産に関わる仕事全般をしております。”日本アグリファーム”は農業の会社で、バナナ、パパイヤ、パイナップル、コーヒー豆等の熱帯植物、主に99%以上輸入に頼っているものを主力に、この中部地方の特産物にしたいと頑張っております。この会社を起業した経緯は、私自身社会に出て就職活動をしていた頃にさかのぼります。当時、

株式会社ミニミニという会社が完全歩合制で社員を募集していましたので、働くところも決まっていなかった為、面接に行きました。今は全国に250~300店舗と大きな会社ですが、当時私が面接に行った頃は数店舗しかなく、社員番号も96番で、社員も30名無い程の規模でした。その様な時代に入社しました。当時は、反社とか何もない時代で、漫画に描いたような千三つの不動産業界でした。完全歩合給でしたので固定給は5万円のなか、月給で初任給130万円、多い時で400~500万円でした。但し非常に過酷な会社でした。入社してくる新入社員に教育をする際、手取りで40万円なら辞めたほうがいい。最低手取りで60万円ないと割に合わない仕事だと、説明をします。始発で帰宅し、始発で出勤をする、それほど過酷な現場で働いていました。当時この中部地区にも大手の不動産会社が席卷しており、取り扱う物件がほとんど無い状態から、新店舗立ち上げ部隊として立ち上げていきました。私が立ち上げたのは、ミニミニ岐阜、滋賀、大阪、京都、埼玉になります。その頃になりますと、店舗数も随分増え成績不振店というのが出てまいります。そこに何故か飛ばされ、前年対比130%が最低ノルマ、結果は翌月に出さなければクビ、という状況にあつという間にクビになりました。その時分、私が30歳の頃に父親が”明林建材”という会社を経営しており、ゴルフ場を主に作っていた土木会社でしたが、極端な話100あるものが0になりました。ゴルフ場以外にも高速道路等の工事もしておりましたが、こちらも100から0になり、負債額が7億以上で、不渡りが出るという現状でした。後藤家の多くが保証人となっており、これは尋常ではない事態だと想い、長男の私がミニミニを退社し、これまでに活かした知識を基に父の会社を立て直す事にしました。私が35歳になる頃には負債額がほぼ0になり、完済する事が出来たので、再び外の会社へ戻る予定をしていました。しかし以前の様な生活に戻ろうとした時、何が幸せなのかを想見しました。以前ミニミニで働いていた頃の私の周りには、年収2,000万円~3,000万円以上の方が多く見えたのですが、岐阜へ帰ってきたら平均年収が400万円~600万円の方が多く実情でした。又其々の



ご家庭へ遊びにお邪魔させて頂くと、年収が高いご家庭では豪邸に住み、200~300万円程するソファーにブランドで固めた服を着た子供、そして家の中で遊ぶと怒られ、服を汚すと更に怒鳴られるといった、非常に悲しい家庭が自慢、の様な家庭が多かったです。逆に岐阜へ帰って来ると、浴槽で唾を掛け合いドロドロの服で家の中を走り回り、カーテンもソファーもビリビリ。なのに笑顔の絶えない家庭を見て、私もあえてまた外に出て以前の様な生活をするのではなく、地元各務原で伸び伸びと子育てをするのも良いのではないかと思います。

その後、岐阜で”明林ホーム”という会社を立ち上げ不動産業を始めました。地元芋ヶ瀬地区は調整区域という事で、約半世紀、50年近く景色が変わりません。そうすると私の同級生が同校区内に家を建てたい、と言ってきます。しかし調整区域なので何処も家は建ちません。

各務原市の現状と将来性を見た時に、調整区域は絶対に市街化区域にはならない、これはほぼ確定です。ではどの様にしたら良いか、と思案した所、地元調整区域にある田畑の地主さんの不安や将来性を考えました。前回の3分間スピーチで横山隆一郎さんがお話されました様に農家の方々の過疎化、跡取りが居ない、という事が非常に深刻化しております。そこで私自身、農業をしようとした際、農業者資格が無い、といった悪法に因って出来ませんでした。その時分、話を伺い大変驚いた事は、300坪の田畑で出来るお米の売上が年間約10万円、トラクターを400万円で購入し、家族総出で面倒を見て10万円の売り上げで歓喜、その様な事で成り立つのか、と伺うとこれが普通だ、との事でした。自分で田畑の管理が出来ない際はJAに年2~3万円を支払い、管理して頂くそうです。

私は、自身で不動産業を営んでおりますので、駐車場に貸せば月10万円の家賃が見込めますので、年間100万円の家賃収入が見込めます。しかしこれは違法行為でブラックになるので出来兼ねる、との事でした。これでは身動きが取れない状態です。私はこの辺り(35歳頃)から儲かる農業とは何かを調べ始めました。

正直な所、お米は栄養価も低く又、利益率も低い。小麦

を育てている所はもっと悪い現状でした。種だけ植え、その後は放置し枯らす、との事でした。なぜなら枯らせれば補助金が降りる、という理由でした。しかしこの補助金も私達の税金から賄っている為、子々孫々続くのかと言ったら疑問です。何故この様な現状なのかを調べますと、農薬や肥料にも多くの規制がありました。

私は、今回バナナを育て販売を致しましたが、これも多くの規制に悩まされました。高級スーパーに卸そうとした所、作る過程の土の成分、肥料の成分、農薬の成分、全ての成分についての開示を求められました。パローへは、無農薬をうたい置いて頂くとした所、無農薬を表示する為には、150万円の試験枠を買い更に、色々調べその検査に通過したら無農薬を表示できる、

赤字の農家に150万円を支払うとは何事か、と憤りを感じ、本気で農業を考えようと思い”日本アグリファーム”という会社を設立いたしました。しかし現実軌道に乗るまで1~3年経過しておりますので苦戦はしております。

バナナは皆さんのお口に入るまでに、70回以上消毒されています。薬局等では、3本100円で販売されています。冷静に考えると、フィリピンないしエクアドルから輸送して梱包して配達をして100円で入手できる、では原価は幾らか、原価は無いに等しい。現地のバナナ農家の平均寿命は25歳で、奴隷に近い扱いで育てているバナナという事になります。奴隷人口は、年々増加傾向にあり、現在では人類史上最高の人数にあります。奴隷が作った原価0の食料品を、驚く事に大半を日本が買い取っているのが現状です。東南アジアないし世界の奴隷制度を日本が支えているのではないか、という私なりの持論に至りました。

又、海外で使用されている農薬の中に、虫の中枢神経を壊す農薬が含まれている事が分かりました。この農薬は、巣に戻る事が出来ない、方向音痴になってしまう為、交尾ができず卵が出来ない、という方法で駆除する農薬が日本では主流となっております。しかし現在、海外では使用されていません。なぜなら人間の脳にも少なからずの(認知症になる可能性が高いとされる)影響を及ぼす可能性があるのではないか、という事です。この様な農薬

は、トウモロコシや小麦、バナナ以外にも多々使用されているのが現状です。

ガソリン車も日本だけです。産油国ではない日本がガソリン車を推薦し、海外は電気ないしエタノールです。更にエタノールで走っている車は日本車です。所が日本でエタノールを入れると原油税を支払っていない理由に困り脱税行為で捕まります。未だ未だ日本には、悪法が多々存在している中、海外は日本と全く真逆で日本はその流れに全然ついていけないのが実状です。しかし何時か急激に変わる時が来る事を信じております。

私は、不動産をしておりますので、300 坪を 1 年間 1 万円で借りる事が出来ます。普通不動産で考えると、月 5 万円～10 万円で借りるのが通常です。年間 60～100 万円掛かるのが、農地ですと買わない方が安いのです。借りた方が安いのです。先日も田んぼを 5,000 円で売って欲しい、と言う方がお見えになりました。計算をすると 300 坪で 150 万円。だったら月 1 万円で借りている方が安い、というのが、日本の農地の価格が暴落している為、何かしらのビジネスチャンスが掴めたらと思い、日本アグリファームという会社を設立致しました。

バナナの今の現状としましては、バローで 1 本 600 円～1,000 円で販売をしております。非常に高価な為、将来的には 1 本 200 円程で販売を予定しておりますので、今後はもう少し生産量を増やす予定です。

以上、有難う御座いました。

